

## 平成 29 年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目	造園計画	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「造園計画」文部科学省 (海文堂出版)						
副教材等							

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

我が国の取り巻く環境と造園の歴史を中心に学びます。造園の歴史から造園様式を学ぶことは多く、また多くの技術が生まれており、それらの理解を深めると共に、その庭園様式の背景を知ることによって、これからの造園空間を計画する力を養います。

教科書を中心に学習します。ノートづくりを工夫しましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・日本の造園様式とそれを取り巻く自然環境や文化的・社会的環境について学習する。
- ・国や時代によって造園様式は異なり、それぞれが生まれてきた背景を理解し、これまで作りだされた庭園の造形的な構成や技術を知ることの重要性を学んでいく。

## 3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	我が国の環境と造園の歴史について興味関心を持ち、造園様式及びそれを取り巻く自然環境や文化的・社会的環境の学習に取り組んでいる。	我が国の環境と造園の歴史を学ぶことにより、それが生まれてきた背景を理解し、造形的な構成や技術を知ることができる。	我が国の環境と造園の歴史から、造園空間を計画する力が生まれ、適切に活用している。	我が国の環境と造園の歴史に関する知識を身につけ、構成や技術について理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート	学習状況の確認 ノート 定期考査	学習状況の確認 ノート 定期考査	学習状況の確認 ノート 定期考査 定期考査の振り返り

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	造園計画の意義と緑地環境の役割  ◎環境と造園様式 ・古代の造園	地球環境問題と私たちの生活  造園の意義	○  ○	○  	  ○	○  ○	a: 地球環境問題と古代造園様式について興味関心を持ち、それを取り巻く環境と造園様式の学習に取り組んでいる。 b: 地球環境問題と古代造園様式について思考を深め、判断表現する姿が見られる。 c: 地球環境問題と古代造園様式について、造園を計画する力を身につけ、適切に活用している。 d: 地球環境問題と古代造園様式について、理解し知識を身につけている。	授業観察 ノート 定期考査
		奈良時代以前 平安時代	○ ○			○ ○		
二学期	・中世の造園  ・近世の造園	鎌倉時代 室町時代 安土桃山時代	○ ○ ○	  ○	  	○ ○ ○	a: 中世の造園、近世の造園について興味関心を持ち、造園様式の学習に取り組んでいる。 b: 中世の造園、近世の造園について思考を深め、判断表現する姿が見られる。 c: 中世の造園、近世の造園について造園を計画する力を身につけ、適切に活用している。 d: 中世の造園、近世の造園について理解し知識を身につけている。	授業観察 ノート 定期考査
		江戸時代	○		○	○		
三学期	・近代の造園	明治時代 大正時代	○ ○	○  	  ○	○ ○ ○	a: 近代の造園について興味関心を持ち、造園様式の学習に取り組んでいる。 b: 近代の造園について思考を深め、判断表現する姿が見られる。 c: 近代の造園について造園を計画する力を身につけ、適切に活用している。 d: 近代の造園について理解し知識を身につけている。	授業観察 ノート 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 技能      d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。